

令和8年度 作新学院大学・作新学院大学短期大学部

入学式 式辞

本日ここに、作新学院大学並びに同大学院、また作新学院大学短期大学部に入学された新入生のみなさん、おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、心よりお祝い申し上げます。ご来賓の皆様には、ご多忙の中を本学の入学式にご臨席を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、新入生のみなさんは、この清原のキャンパスから、大学生・大学院生・短大生、として第一歩を踏み出すことになるわけです。みなさん一人一人が、学生としての自覚と責任をもって学び、行動していく上で、まず理解していただきたい点は、本学の「作新民」という建学の精神です。

「作新民」とは、中国の古典「大学」からとられた言葉であり、自己を日々新しくする人間の育成を意味しています。すなわち、自ら主体的に考え、知識を行動につなげ、心豊かな人間として自己を日々変革していくことによって、目の前に次々と生じる課題を的確に解決していく生き方とその育成をめざすという意味です。また、この建学の精神は、本学の「自学・自習」「自主・自律」という教育理念にも相通じる考え方です。

現在、分断や紛争、あるいは戦争の絶えない不透明かつ不確実な時代の中で、生成 AI に代表される技術革新によるフェイクニュースなどのソーシャルネットワークに関わる問題、格差の問題、さらには生態系の破壊による環境汚染の問題など、数多くの問題が地球的規模で発生しています。こうした状況の中で、本学でこれから学んでいくみなさんに、私から一つのメッセージを送りたいと思います。

それは、「レジリエンス」を鍛えていてもらいたいということです。「レジリエンス」とは「抵抗力」という意味です。今日、事実、つまり「ファクト」が曖昧にもかかわらず SNS 上で拡散され、事実でない過激な内容の方が、あたかも事実であるかのように広まってしまう現象が見られます。その一つが、人々の感情をかき立てる情報の形として知られる「ナラティブ（作り話）」です。事実、「ナラティブ（物語）」で情報を操作・工作する勢力が存在します。ある研究者の調査によれば、SNS でとくに拡散されるのは「怒り」と「憎悪」であり、とりわけ怒りは通常の情報に比べて 6 倍速いという報告が出ています。こうした情報操作に対抗するカギが、「心理的レジリエンス（抵抗力）」とされています。「心理的レジリエンス」が弱い人は、過激な「ナラティブ（作り話）」に乗せられてしまう恐れがあると言われてしています。

心理的レジリエンスを高めるために重要なことの一つは、「二重のファクトチェックを行う」ことです。すなわち、自分がコメントしようとしている内容が、本当に自分の価値観と合致しているのか一度立ち止まって冷静に「ファクトチェック」を行うということです。また、実名で同じ投稿ができるかどうか自問自答することもよいとされています。みなさんは、この混迷する時代の中で、ぜひこの「心理的レジリエンス」を、これからさまざまな知識や技術を学び、経験を積む中で、意識的に高めていってください。

ところで、大学という場は、多様な人間が集い、語り合い、互いに切磋琢磨して研鑽を積んでいく場です。ぜひみなさんは、自ら進んで学内外におけるさまざまな場に参加し、その中で、自分のものの見方を構築しながら、自分がどのような存在であり、何に向かって進んでいくべきなのかなど、じっくりと自己省

察を行って行ってください。

私たち教職員は、「学生ファースト」の観点に立って、みなさんの夢の実現のために、学修および生活における安全・安心な環境づくりを第一に考え、授業やさまざまな行事や活動において、充実したものをみなさんに提供し、全面的に支援・援助して参ります。

また、本学では、みなさんの夢を叶えるために、さまざまな免許や資格を取得できるプログラムが数多く用意されています。こうした免許・資格の取得やボランティア活動やインターンシップといった社会活動、あるいは学生が自主的に取り組む、強化部をはじめとする課外活動やサークル活動といったさまざまな活動にも積極的に挑戦して、多くの人間と交流しながら自分の可能性を広げて行ってください。

結びに、みなさんが、本学のこの自由の精神と実学の精神が溢れる雰囲気の中で、学問に勤しみ、実践知を蓄え、夢の実現に向けて果敢に挑戦する人間として成長していくことを教職員一同心から大いに期待し、式辞と致します。

令和8年4月5日

作新学院大学・作新学院大学短期大学部

学長 渡邊 弘